

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名 | こども発達・子育て支援センター わくわくかん | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年1月24日（金） | | ～ | 令和7年2月7日（金） |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 50 | （回答者数） | 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年1月24日（金） | | ～ | 令和7年2月7日（金） |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 3 | （回答者数） | 3 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 令和7年1月24日（金） | | ～ | 令和7年2月7日（金） |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | （対象数） | 20 | （回答数） | 11 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月27日（木） | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | これまでの取り組みから家庭だけでなく訪問先からも要望をいただいている | 家庭や学校との事前連絡や訪問後の報告連絡等丁寧なやりとりし、話しやすい良い関係を築けて協力・連携できていると思われる。 | 今後も顔の見える話しやすい関係作りに努め、子どもの発達や成長に関して情報共有や対応の検討等しっかりとやりとりしながら関わっていく。 |
| 2 | 様々な職種の職員を配置している | 現場経験の豊富な保育士、公認心理士、社会福祉士を配置していることから、様々な立場から子ども達との関わり等について助言がアドバイスができるよう配慮している。 | 今後も様々な専門職の視点をもちより、子ども1人1人の特性に配慮し、発達段階に応じたきめ細やかな支援ができるよう努める。また、新たな訪問支援員の育成にも力を入れていく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 訪問支援のご希望を多くいただいているが、ニーズにお応えできていない状況がある | 事業所全体の職員配置の都合により、訪問支援員が専従ではなく他サービスとの兼務になっている等ニーズに十分に答えられる人数が配置できない為。 | 職員配置の関係上、急な職員の増員は難しい面があるが、可能な範囲で別職員にも訪問支援を体験する機会を設ける等しながら訪問員の育成に力を入れていく。 |
| 2 | ガイドラインやマニュアル、訪問支援の実際の取り組み等の周知が不足している | 事故防止や緊急時対応、防犯や感染症対応等各種マニュアルを策定して、契約時や保護者会等で説明させていたが、内容が多く細かい部分の説明はできていないかもしれない。また、訪問支援後に子どもの様子等保護者には報告し、フィードバックできているが、訪問支援員の役割や関わり等について、訪問先によって考え方や周知で上手く伝わっていない、関係性が構築しきれてない面があるかもしれない。 | 保護者会や行事の際にする場を設ける、ICTを活用する等、周知するよう努めていく。 また、報告の際は、子どもの様子だけでなく訪問支援員の関わりや訪問先とのやりとり等も含めてより丁寧に伝えたり、カンファレンスの時間をどうやったらうまく確保できるかなど相談し、よりよい関係性の構築と相談しやすい関係となれるよう努める。 |
| 3 | | | |